

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社 共栄
実習期間	平成 29年 8月 28日 ～ 平成 29年 9月 1日
学生氏名	渡邊 輝
実習プログラム	1 日目会社概要案内、企画、縫製 2 日目裁断 3 日目縫製 4 日目縫製 5 日目仕上げ、納品、グループ内企業見学
学び・気づき (300 字程度)	<p>今回のインターンシップでは被服をつくる工場の作業を企画、裁断、縫製、仕上げ、納品という手順で体験させていただいた。企画を通さずに裁断をしてしまうと縫製が困ってしまい、その後の作業をする人たちも困ってしまうのである。私は将来、起業を目指しているが、起業にあたって、計画的な手順を踏む大切さを学んだ。2 日目の生地の手合わせはとても根気のいる作業で数時間行うのも体力的に大変だった。そして、縫製の作業では、正確に行わなければ商品の品質に直結するのでさらに気合が入った。長時間、作業の質を落とさない根気の大切さを知った。3、4 日目はミシンでキルト地などの縫製を行う仕事であった。ミシンを触るのは小学校の家庭科の授業以来だったので最初はうまくいかなかったが、一日の作業を通じ大体は慣れることができた。この作業は女性の出産前後の雇用の特化していて、資格もいない。地域の多様な雇用のニーズに対応することの大切さを学んだ。それを終える東京から出張にいらっしゃっていた社長と 90 分も話す機会を設けていただいた。内容は企業概要から社長の本音まで幅広く話すことができた。4 日目のグループ内企業見学をした。この見学では、グループ内の他の二社の社長のお話を伺うことができた。社長にも違った色があり、様々な考え方をしていた。その中で共通している考え方があった。それは「まずいろんな経験をしてみろ。」と社長の方々は口をそろえておっしゃったことだ。一人の社長は、「なんでも遊べ！」一方では、「遊べてのは経験しろってことだからね？」というように経験するという意見に関して多様な考えを教えられた。しかし、すべて間違いでもなければ正解でもなかったと思う。その良し悪しは自らが決めていかなくてはいけないのだと思った。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>自分が経営者になったら雇用する人材のニーズやどんな人材が必要なのかなどを明確にするために、経営や雇用についての知識を深めるべきだと感じた。これから人生を生きていく上で物事を偏見で判断せずに経験、失敗、成功をへて次からの判断を誤らないように沢山考えていこうと思う。自分の肥やしを増やすために場数をたくさん踏む。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>工場内にはたくさんの女性が働いていた。中には私の母親の世代の方もいらっしゃって、とても暖かく迎え入れてくれた。分からないことがあれば自己紹介すら済ませていなくても優しく教えてくれました。昼休みも従業員同士楽しそうに話していた。従業員同士が楽しく働けるという所に魅力を感じました。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	